

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 空		令和7年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	学習時や活動時など、様々なスペースを活用出来ている。 高学年が多い日はスペースが狭く感じる。	活動スペース拡張の為、事業所移転も検討中である。 日々の支援において、内容によって部屋を使い分ける等工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		個別に支援が必要な児童には適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	視覚支援等工夫している。 各部屋の役割を子ども達も把握しており、うまく使い分けられている。	賃貸物件の為バリアフリーではないが、数センチの段差を極端に気にしたり慎重に昇降する場合は視力の問題点にも気付ける等のメリットもある。段差があることによって「段差の向こう側は学習室」という認識は入りやすく場面設定が有効である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		掃除は毎日行い、消毒も実施している。 また活動に合わせて空間作りを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		音に敏感なお子様や集中の持続の為に個別の部屋を使えるようにしている。 カームダウンルームや学習室等、児童の状態や用途によって使用する部屋が設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		職員間で話し合い、トライ＆エラーを繰り返しより良い方法を探している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		評価表以外にも活動アンケートや利用の意向についても保護者からの意見を聞き入れるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日の朝礼と毎月の職員会議実施。 また、その都度話し合いや意見交換を積極的に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	外部の方の意見を聞き入れより良い業務の改善に努めている。 他事業所との連携、評価の機会を設けられている。	第三者委員会は今後検討している。 他事業所の訪問や情報共有において気付いた点のご意見はしっかりと活かしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修の案内を開示する等、積極的に外部研修へ参加できる環境を整えて頂いている。 毎月の内部研修や、希望する研修への参加が出来ている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援計画に基づいて作成され、HPIにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメントやモニタリングをしっかりと行い計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		支援員の意見を聞き入れながら、計画にも反映している。 全職員が各児童の気になる点や気付きを記入する用紙が用いられている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		支援記録を記入するバインダーに計画書を添付し、誰もが確認できるようにしている。 よって、全職員が計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		個人支援記録・専門的支援記録はフォーマットを作成。 5領域に対応したアセスメントシートを活用している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		計画に全て盛り込んでおり、細かく設定され保護者にもしっかり面談時に説明している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		理学療法士を中心に、全員で相談しながら計画している。 子ども達の成長や達成度に応じてアップデートされている。 どのような活動が良いか積極的に意見交換している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		様々な活動を取り入れ、子ども達が楽しんで取り組める様に工夫出来ている。 保護者様にアンケートをとり、ニーズに合わせた活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童それぞれ個別の目標、集団活動での目標を考えながら作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝礼を行い申し送りや現況など話し合い、その日の業務内容等を含めしっかりと情報共有が出来ている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	報連相を徹底し、その都度必要に応じて振り返りが行われている。 勤務時間内で行う事が難しい場合はLINEで共有している。	送迎後の戻り時間が様々な為、終礼が出来ない日もあるが当日の引継ぎ内容はLINEやメモで残しきちんと共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日必ず記録を取り、次の支援に活かしている。 記録を残して情報共有を行っているので、全職員で周知徹底することができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		複数の組み合わせを意識して支援に当たっている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自己決定出来る力を養う為、職員内で共通認識を深めている。 こちらが先読みし過ぎないように自己決定の場を多く設定している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		必要に応じてケース会議の開催を促したり、報告書を共有している。 会議は管理者が児童が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		様々な関係機関と連携をとれるよう体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		利用日の確認や送迎時間等のミスがないように毎月連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		関係機関と情報交換を行う事は意識的に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	現在該当者なし。今後該当する場合は、しっかりと情報共有を行う。	卒所後の生徒や保護者様との交流があり、報告を頂いたりアドバイスなどを行う事もありますので、必要に応じて対応させて頂きます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		主に療育センターとの連携を図っている。 交流会に参加し意見交換や相談を行えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	交流会という形としては今のところ保護者のニーズを受けていないが、戸外活動などで同世代の子供と関わる機会を設けている。	戸外活動で公共の施設等の訪問もあったり、同世代のお子様がいらっしゃる場所にも出向き、順番を守ったり譲り合ったりする経験は出来ている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	積極的ではないが必要であれば参加していると認識している。	今後検討し必要に応じて参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時・受診同行・連絡帳や電話・LINE等で情報共有できている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ペアレントトレーニング研修に参加したスタッフが情報共有しており、必要な保護者に関して行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		管理者が契約時にしっかりと行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		事業所で面談を行い、必ず保護者と本人の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		事業所にて説明する場を設け、保護者様に計画の内容を丁寧に説明し、同意を得たうえでサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		管理者が時間外でも応対する等柔軟な対応をしている。 その都度発生する悩みや、問題など親身になり適切に対応できている。 保護者からの相談には毎回丁寧に話を聞いている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会(年2.3回)・親子遠足・空マルシェなど保護者も参加出来る行事を増やしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		素早く対応できるよう意識し、LINEや電話、来所、訪問で寄り添った対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		HPにてブログ・フォトギャラリーを掲載。 空通信を発行し情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		職員一人ひとりが意識している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		連絡帳・配布物受け渡しチェック・LINEなど様々なツールを活用し伝わりやすいよう配慮している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		バザーで色々な人に声を掛けたり、地域のココフル薬局様へバザーの収益金や収穫した野菜を寄付したりと交流が出来ている。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		全職員の周知だけでなく、保護者にもマニュアルを配布しお伝えしている。 定期的に訓練を行い、ブログなどでその都度確認が出来ている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPは策定している。定期的に内部研修を行い、非常時に備えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者から情報を頂き把握している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者と情報共有を行い、指示に従っている。	現在アレルギー該当者は1名。対象者に対しては最大限の配慮を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		必要な訓練、研修は随時行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		マニュアル等含め周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ファイルにまとめていつでも確認できる体制を整えている。 職員会議で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		必ず内部研修を設け、適切な対応が出来ている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		きちんと説明している。	